

京都大学再生医科学研究所

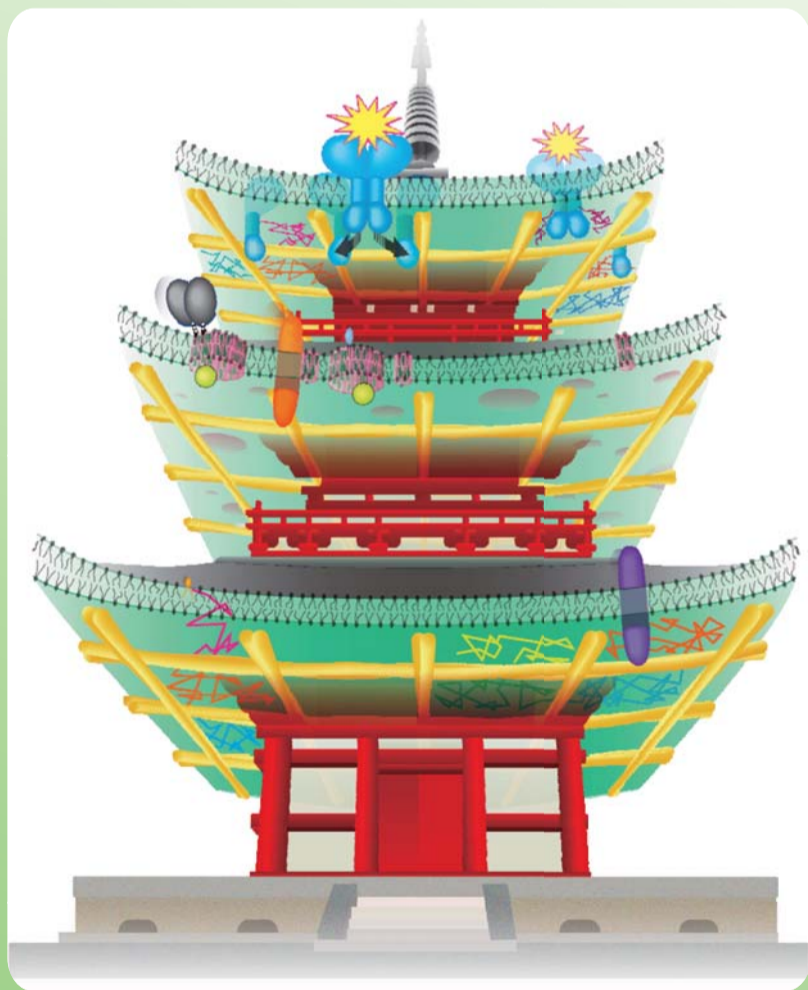
『再生医学・再生医療の先端融合的共同研究拠点』

第7回 公開講演会

テーマ

分子から細胞さらに再生医療へ

再生医療の将来の大きな発展のためには、生命科学全体のレベルの大幅な引き上げが必要です。逆に、再生医療の基礎研究は、生命科学や他の医療のレベルの底上げに大きく貢献しそうです。この講演会では、再生医療の技術と、細胞の働きを物理や化学の考え方をを使って説明するお話をします。下の図にあるように、立派な塔を建てるには、多くの重要な基礎技術（この図では細胞膜のメゾドメイン制御技術）の開発と、それをシステムとして組み上げる技術が必要なことを感じていただければ幸いです。



日時

平成 **24** 年 **7** 月 **14** 日 (土)

午後2時00分～午後4時10分

開場1時00分 開演2時00分

プログラム

■ 午後2時00分～2時05分

開会挨拶

■ 午後2時05分～3時05分

「ES 細胞医療の実現にむけて」

再生医科学研究所 准教授 末盛 博文

ES細胞やiPS細胞などの多能性幹細胞は、細胞移植医療に用いる様々な機能細胞の供給源として利用できるのではないかと期待されています。しかしES細胞の医療応用は始まったばかりで、実用化のためには解決が必要な問題が数多く残されていると考えられています。ES細胞の臨床利用へ向けたさまざまな取り組みや、問題点について解説します。

■ 午後3時10分～4時10分

「1分子毎に見て
細胞膜がはたらく仕組みを解く」

再生医科学研究所 教授 楠見 明弘

舞台でのページェントは、ダンサー 1人1人の動きと相関を振り付けていくことで、できあがります。私たちは、細胞内で、分子1個ずつの動きと相関を見ることで、細胞の演出意図（働き方）を理解しようとしています。見る方法の開発を進め、細胞膜の働き方が少しずつ分かってきました。地球上のすべての細胞膜は2次元液体構造をもっており、この普遍性はDNAの二重らせん構造に匹敵するものです。したがって、細胞膜が動くには、いくつかの簡単で普遍的な法則がある、と考え、それらを明らかにしようというのが私たちの研究室の目標です。どれくらい分かってきたかをお話ししようと思います。

申し込み

京都大学再生医科学研究所公開講演会係宛

メール (kouen@frontier.kyoto-u.ac.jp)

FAX (075-751-4646)

往復はがき (〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53)

上記のいずれかに、氏名（複数申込可）・連絡先（住所・メールアドレス・電話番号・FAX 番号等）を記入のうえ、7月6日（金）までにお申込みください。なお、定員は先着500名です。

駐車スペースがありませんので、当日は公共交通機関をご利用ください。

場所

京都大学百周年時計台記念館1階
百周年記念
ホール

受講料

無 料



◎ 問い合わせ先：京都大学再生医科学研究所総務掛（電話番号 075-751-3802・3803）

※講演会当日 090-2385-6728（12:00～）

◎ 京都大学再生医科学研究所のホームページ <http://www.frontier.kyoto-u.ac.jp/>

◎ 「京の府民大学」対象講座